

## 令和6年度第1回山武市子ども・子育て会議 会議録要旨

日時:令和6年6月26日(水)10時00分～11時30分

場所:山武市役所 新館 第5会議室

出席者:委員 14人/20人 事務局 14人

委託業者(株式会社ぎょうせい) 2人

傍聴人:なし

進行:子育て支援課主幹

議事進行:会長

### 議事結果

#### (1) 協議事項

①第2期山武市子ども・子育て支援事業計画の実施結果について . . . 了承

#### (2) 報告事項

①第3期山武市子ども・子育て支援事業計画にかかるニーズ調査結果について . . . 了承

②子ども・子育て会議及び第3期山武市子ども・子育て支援事業計画策定業務スケジュール案について . . . 了承

敬称略

※各課等からの連絡 . . .

「山武市第4次障がい者計画・第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画」の策定について [説明:社会福祉課]

### 1. 開会 [進行]

会議成立の報告 [進行]

(委員20名中14名出席。会議条例第6条により、過半数を超えたので会議開催。)

### 2. あいさつ

- ・当会議趣旨・目的説明 [保健福祉部長]
- ・事務局紹介 [進行より名前を読み上げて紹介]
- ・会議内容説明 [子育て支援課長]

### 3. 議事〔会議条例により議事進行：会長〕

#### (1) 協議事項

- ①第2期山武市子ども・子育て支援事業計画の実施結果について〔説明：子育て支援課〕  
（資料2「子ども・子育て支援事業計画【主な事業・取り組み】令和5年度末までの成果状況・進捗状況」に沿って基本目標ごとに説明）

#### ・質疑応答

なし

#### (2) 報告事項

- ①第3期山武市子ども・子育て支援事業計画にかかるニーズ調査結果について  
〔説明：株式会社ぎょうせい〕

（資料1「山武市子ども・子育て支援に関するアンケート調査結果報告書(案)」、資料1-1抜粋（当日配布）「山武市子ども・子育て支援に関するアンケート調査結果報告書(案) 主なポイントまとめ」に沿って説明）

#### ・質疑応答

##### Q1〔委員〕

60ページにある「問35：市に対して、子育てサービスの現状やあなたの子育て経験などから、どのような支援策の充実を図ってほしいですか。」において、『親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する』が最上位にあがっているが、どのような公園が求められているのか、62ページの自由記述欄に書かれている内容が分かれば、教えてほしい。また、『育児休業給付、児童手当、子ども医療費助成など、子育て世帯への経済的援助を拡充する』も上位となっているが、令和5年度末までの成果状況・進捗状況の中では様々な事業を行っており「ほぼ順調」となっていた。その中でも、不足しているものや、特に経済的支援が求められているものがあれば教えてほしい。

##### A1〔子育て支援課長〕

市内の公園は、平成18年の4町村合併前の旧町村ごとに、公園等の大きさや設置箇所バランスも異なっている。バランスを考慮し、新規整備を行う考えもあるが、用地確保の問題等がある。また遊具に関しては、近年、全国的に老朽化による事故が多く発生しており、定期点検が義務化されている。本市においても、既設遊具の定期点検を実施し、安全確保に努めているが、維持管理に苦慮している。数年前から、「自宅の近くに公園を作ってほしい。」「遊具を設置してほしい。」等の要望があることは把握しているが、予算の制約や人手不足等もあり、難しい状況である。しかし、アンケートによるご意見等は、今後の参考とし、子どもたちが安心して遊べる公園づくりについて協議していく。

経済的支援については、国の制度である児童手当の拡充について報道発表があった。現在、児童手当は中学生世代までの支給となっているが、今年10月分（支給月は12月）から、高校生世代まで支給されるとともに、所得制限の廃止と、第3子に対する加算が行

われる。22歳までの子どものうち、上の子からカウントした場合（例えば、第1子が高校生、第2子が中学生、第3子が3歳未満）、第3子に、現在は15,000円が支給されているが、制度改正後は30,000円が支給される。

子ども医療費については、市民税の課税・非課税によって、県の負担割合は異なるが、本市の場合は、市民税が課税であっても非課税であっても無料とする制度を平成31年度（令和元年8月1日）から実施している。

## Q2〔委員〕

公園に関しては、私の住んでいる地域では、子育て世代が団地に引っ越して来られる方が多く、団地内の公園が歩いていける距離にある。その他にも、さんぶの森公園があり、車で来られる方もいる。公園のニーズには、おそらく地域性があると思われるので、そのような状況を反映させた方がよい。経済的支援に関しては、高校生等までの医療費が無料等の支援を行っているが、他にどのような支援が必要なのか、意見を要約すると見えてこない部分があるので、今後の子育て支援にあたり、どのようなものが足りないのか、見える形にした方がよい。

## A2〔株ぎょうせい〕

60ページにある問35において、最上位である『親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する』という回答を学校区ごとに集計を取り、校区ごとの数値を示すことも出来る。また、62ページにある問36の自由記述について、最も多い意見要旨が『公園や遊び場の不足』であるが、具体的にどういう不足を挙げているのか、例えば遊具の老朽化なのか、公園の立地・規模なのか等、報告書の内容に具体的な意見の内容を括弧書き等で補足し、傾向が見えてくるよう工夫を行う。

## Q3〔委員〕

101ページにある問27の自由記述に、『学童クラブの質向上と運営改善』という意見があがっているが、具体的な内容を教えてほしい。

## A3〔株ぎょうせい〕

自由記述の具体的な内容を確認し、改めてご提示する。

## Q4〔委員〕

私の勤務している大学のゼミの取り組みとして、地域の遊び場である公園をリメイクしている。公園の数が多く、やはり維持管理が一番の問題である。地域の方が、掃除や草刈りをするような状況にもない。そこで、大学の近くの公園から、学生たちが絵を描いたり掃除をして綺麗にすることで、再び地域の方が利用してもらえる公園にリメイクする取り組みを始めた。反響があり、「別の公園もやってほしい。」という声も出てきているが、一番の問題は予算の問題である。イベントを行う時は、学生自身がクラウドファンディングで取り組みの価値を伝え、資金を集めて、それを予算とすることもできる。維持管理につ

いては、行政だけに頼るのではなく、自分の身近な公園に地域の方、あるいは中学生や高校生などを巻き込んで、動く人（キーパーソン）、声をかける人、資金を集める方法等の形を作っていくことが重要である。人がたくさん集まることで、安心安全に利用できる公園になる。この取り組みは、今のところ大学の周りで行っているが、色々な地域で実施出来ればと思っている。例えば、高校の美術部など、色々なところに声をかけてみると、地域の力で公園をリメイク出来る可能性もあるので、幅広く声かけしてほしいと思う。

#### A 4〔子育て支援課長〕

貴重なご意見に感謝する。本市にも多くの公園・広場があるため、いただいたご意見を公園・広場等を管理する部署にも伝える。今後、委員に協力をお願いする際は、改めて声をかけさせていただければと思う。

#### Q 5〔委員〕

SDGsの活動の一環で、チームに分かれてゴミを何分間でどれだけ拾えるかという活動を見たことがある。地域や若者の活動の一つとして、行政だけの力ではなく、何か別の方法を見つけてやっていけるのではないかと思う。以前、バスツアーで観光地に行った際、道路脇に雑草が全くなかったことに驚いた。観光客が多く来る場所ということもあるが、公共の場を綺麗に保つことについて、方法がない訳ではないと思う。先ほどの委員の意見を聞き、山武市でも出来るのではないかと思う。

#### Q 6〔委員〕

様々な保育園・幼稚園児が大学のキャンパスに遊びに来て、どんぐり拾い等をしてくれた。しらはたこども園の園児たちも遊びにきてくれた。他の公園に比べて、大学にはガードマンや学生たちもたくさんいるので、(池に柵がないなど、気をつけなければいけない箇所はあるが)安心・安全である。キャンパス内は、池や林などもあり、綺麗な環境のため、若い世代の人たちと話したり、関わってみたい方たちが利用してくれると良いのではないかと思う。

#### Q 7〔委員〕

アンケート調査結果報告書の内容は概ねこれでよいと思うが、自由記述の部分の表記について改善していただけると市政の参考になると思う。細かい意見について、子育て世代が何を求めているのかが分かると、もっと具体的に取り組んでいけると思う。

#### A 7〔子育て支援課長〕

市民からのご意見については、公園関係だけでも大量なページ数となるため、ある程度まとめてお示しできればと考えている。

## ②子ども・子育て会議及び第3期山武市子ども・子育て支援事業計画策定業務スケジュール案について〔説明：子育て支援課〕

（資料3「令和6年度 子ども・子育て会議及び第3期子ども・子育て支援事業計画策定業務スケジュール案」に沿って説明）

### ・質疑応答

なし

## 4. その他

### Q1〔委員〕

補助金が出るということで、農業をやるために山武市に移住する方もいるので、山武市ならではのいいところ（土地が安い・子ども医療費無料など）をもっと大々的にアピールして、「山武市に住みたい。」と思ってもらえるような、他の市区町村に負けない子育て支援策を作してほしい。色々な事業をやってもアピールしなければ、「住みたい。」と思ってもらえない。公園の関係についても、若い世代がどんどん移住してくれば、税収も増え、色々なことが出来ると思う。また、地域の力を借りて色々な取り組みを無償でやっていくことも出来る。公園で様々な祭事物を開催し、ゴミ拾いをしてくれた方に、スイカをプレゼントするなど、山武市の特産物をアピールできる場ともなる。色々なイベントを行うことで、人が集まり、ボランティアで掃除や草刈りをするなど、どんどん実施していけたら良いと思う。私たちも力になりたいと思っている。

### A1〔子育て支援課長〕

本市でも、こども園・幼稚園の職員の人員確保が非常に難しく、色々な大学に訪問している。その際、大学教授から「山武市には、畑がたくさんあって良い。」という話があったため、子どもたちがサツマイモ掘りなど地域の方と触れ合っていることをお話したところ、「とても良い取り組みだ。」ということで、引き続き実施していき、積極的にPRしていきたいと思う。また来月には、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこともあり、本須賀海水浴場において5歳児が海遊びをする。都会のこども園では出来ない、山武市ならではの取り組みのため、十分PRしていきたいと思う。近くの大学の先生からもご意見等を頂き、一人でも多くの方が住んでもらえる街づくりが出来ればと考えている。

### Q2〔委員〕

福祉に関わる方々は、職員の募集・確保が難しいということを身近に感じていると思う。近隣の高校を訪問したところ、現状、各高校に福祉を目指す学生が一人いるかいないかという状況である。これは大学だけではなく、福祉に関わる人、行政もしっかり理解して、これからの福祉に関わる人材を育てていかなければならない。福祉は人の繋がりで、すごく温かみのあることなので、その良さを子どもたち、小学生、中学生全てに伝えていかなければならない。高校生の数は減っていく一方、IT系やAIなどの分野を希望する子が多く、理系に進む女子も増えている。特に福祉を希望する学生は、現状「いない」と

思った方が良い。現実の厳しい問題だと認識する必要がある。

#### A 2〔保健福祉部長〕

福祉は、「低賃金で重労働。」というイメージが先行していると思う。具体的に今後どのような取り組みを行うべきか、人材育成について委員のご意見を参考にさせていただきたい。

#### Q 3〔委員〕

大学も福祉を志す学生数が半減しており、来年は更に減ってしまうかもしれない。学生の募集に苦慮している。大学名等の知名度が低いことも原因かもしれないが、高校に行っただ話を聞いたところ、親が福祉に関する仕事を勧めない状況とのこと。親が勧めない進路を、子どもが選択することはほぼない。やはり福祉のイメージが悪いのは事実である。

コロナの影響もあるかもしれないが、「人と関わることの良さ」ではなく、「人と関わることは色々な問題があって大変だ。」というイメージが先行しているように思う。子どもたちには、「人と関わることは楽しいこと。」「ありがとうと言われるのは嬉しいこと。」という経験をたくさんさせてあげたいと思う。「福祉」という言葉ではなく、「何か楽しいことを、一緒にやると嬉しい（楽しい）。」というイメージから始めていかないと厳しい。小学生、中学生のうちから何かと一緒にやること、「子どもたちが何をしたいのか。」を大事にして、接点を作っていくことから始める必要がある。

#### A 3〔保健福祉部長〕

今回のテーマは、子ども・子育て支援策だが、子どもたちだけを対象にした子育て支援策だけでは足りない。地域づくりという大きなテーマの中で、「地域が潤っている。」「福祉・教育が充実している。」など、様々な魅力が無いと子育て支援策も充実していかないと。今回いただいたご意見について、庁内関連部署にも共有し、今後様々な対策を検討させていただければと思う。

会議終了